

～～研究者回答集～～

【今後、企業へ期待すること・要望】

- 特に私が所属している分野・研究室では企業の方々とお話できる機会が少ないので、このような場に多くの企業が参加していただけることは非常に嬉しいです。おそらく学生の側からアプローチすれば可能なのですが、博士課程の学生や博士研究員が直接企業の方々とお話できるような環境がもっと整備されると、自分の可能性をいろいろと考える上でも、また、将来の選択肢を増やす上でも非常に喜ばしいことだと思います。さらにそのような学生や研究員が採用され、企業にとっても好ましい結果を出すことで、現在の状況が変化すればと思います。そのためには、もちろん私たち学生・研究員の努力が前提になるわけですが。お忙しい中、参加していただき本当にありがとうございました。
- プレゼンテーションにおいて、今行っている研究開発についての話をもう少し長くしていただけたらと思います。
- できるだけ多くの企業に参加していただければいいと思います。
- 企業発表において、自社のPRに力を注いでいた企業が数社見受けられました。気持ちはわからないでもないのですが、経営理念や利益等は公式ホームページでも調べられるわけで、「DC・PDへ望むことやその扱い」という観点からの生の声を聞かせていただきたいと思いました。
- 「わが社の仕事内容と専門が完全に一致していないと採用しない」という考えの企業が、特に中小企業に多かったように見受けられます。川端先生も仰っていたことですが、より広いスペクトルで、採用する人材を選択していただければよいと思います。博士は専門家ではありますが、3年だけ余分に研究を行ったに過ぎません。そう考えるとそこでの専門そのものよりも、問題解決能力や論理的思考能力等の「メタ」な能力に もっと着目して欲しいと思います。
- 企業紹介のパンフレットが（おそらく）修士向けのものなので、もう少し詳しい内容の資料を用意していただきたい。
- ポストドクターの門戸を多く開いてほしいと思います。
- 同じような道を進んだ方（DC→企業）をたくさん連れてきていただきたい。
- 実際に採用された場合の状況などを具体的に説明していただきたい。
- バイオ系の将来性や可能性を企業側はあまり理解していないのではないかと感じた。ポスターも、もっと興味を持って聞いてほしかったがあまり興味がないように感じた。バイオ系は学問としても面白く、研究は非常に進んでいるのにそれを社会の役に立てる方がぜんぜん進んでいない。そこはもっと企業が関心を持って積極的にバイオ事業に乗り出してほしいと思った。

- できるだけ多めに企業の情報や求める人材のタイプを教えてくださいと思う。
- 実際に近年DC・PDを経て企業に就職した技術系の方に、研究現場の現状について話を聞けると興味深いです。事務系、人事の方中心では、就職事情の話になってしまいます。
- 博士課程卒の学生を採用した実績、その理由、また、入社後に取り組んでいる仕事と専攻の関係をもっと具体的に示してほしい。
- MCと同等の待遇で結構ですので、(優秀であれば)是非DC学生を採用していただきたいです。
- 基礎科学を研究しているDC学生に、企業経験はありません。あまり即戦力として期待されてもつらいです。
- もう少し具体的に博士採用に関する現在の考え方などを聞きたかった。また、具体例を示されていた方もおりましたが、そういった以前の具体例として、こういった能力を持った人が博士採用となっているのかなどのお話をもっと聞きたかった。

【今後、S-cubicに期待すること・要望】

- 東京での会に引き続き今回も参加させていただきありがとうございました。前回の感想と重複してしましますが、普段企業の方々と直接お会いすることがほとんどないので、このような会は本当に自分にとって有意義なものでした。前回よりも自分の分野に近い企業の参加があったので、一般的なお話からは少し入り込んだことも聞くことができた気がします。この会がより発展して、学生・企業ともにもっと多くの分野が参加できるようになればうれしいです。研究科の分野などの制約があるとは思いますが、可能であればそのように発展していただければと思います。
- 参加していただける企業の業種がもう少し、幅広いほうがよいと思います。
- 東京の時より、企業の方々に、「親近感」を持ちました。それが何に由来するモノなのかは分かりませんが。次回、私の就職が決まっていなければ必ず出ますので、頑張ってください。
- 学生間でポスターを説明する機会が少なかったなので、そのような機会がもう少しあればよいかな、と思いました。
- 企業とのコンタクトの時間は、もう少し長くてもよいと思います。
- 今年と同様の活動をこれからも続けていただきたいと強く思っています。
- もう少し参加企業を増やしてほしいと思います。
- 企業見学も行えるようなオプションなイベントも盛り込んでいただくと、さらに効率のよい有意義なものになると思われるので是非ご検討いただきたい。

- こういう会があることをもっと宣伝すべきだと思う。おそらく他にも来たい人はいっぱいいたのではないと思う。また、参加する企業の募集職種とDC・PDの研究テーマをある程度一致させるべきだと思う。
- このような形式が、まだ就職のことに迷っている私たちにとっては非常にふさわしい形式だと思うが、できるだけ企業との交流時間を長くしたらもっと役に立てると思う。
- S-cubicのサイトにPRを出している企業が少ないと思う。今後、企業にもう少しはたらしかけてほしい。
- 大変だとは思いますが、もっと食品、製薬メーカーを呼んでほしい。
- DC学生への就職活動の機会を、今後もより提供していただければ幸いです。
- 今回のような会合を通じるなどして、企業側へDC学生の存在をアピールしてほしいです。
- 以前に比べて、博士採用に関する企業側の考え方が変わってきていることが、企業の生の声として聞くことが出来たことは非常によかった。少し、分野が広すぎると思います。もう少し分野を細分化して交流することが望ましいと感じた。

【感想（自由に感想を書いてください）】

- 私はまだ博士課程の1年生であるという立場上、就職に関して切迫した状況ではないのですが、早い段階からこのような会で企業の方々とお話できたことは、自分の将来にとってとても有意義なことだと思います。おそらくこのような機会がなければ、自分の就職先として企業を選択肢として考えることはなかったでしょうし、実際に企業の方と直接お話しすることで、自分の足りない部分や、アピールすべき点が少し明らかになったと思います。特に私の専攻分野では、普段は応用的なところまで考えをめぐらすことが少ないので、この会に参加して研究についての視点も少しは広げられるのではないかと思います。このような会を主催し運営して下さった皆さん、そしてお忙しい中、参加して下さった企業の皆さんに心から感謝したいと思います。
- 前回に引き続き、今回も有意義な時間を作っていただき、誠にありがとうございました。提案なのですが、名簿を作る際にDC、PDの所属ではなく、自分の研究に関するキーワードを3つほど載せるのはいかがでしょうか？
- 初めてこのような活動に参加しました。面白かったです。企業の方にたくさんの情報を教えていただいて、ありがたいです。今後も、このような活動に参加したいです。
- 今回の赤い糸会では、企業・学生を問わずさまざまな方と知り合うことができ、また、就職活動をより広い視野で見ることができるようになって、大変有意義な経験をさせていただきました。今回の機会を与えていただいたS-cubicの皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。

- 企業とのコンタクトを取れる貴重な場を与えていただきましてありがとうございました。
- 今回は前回の東京開催よりも、参加企業が少なかったのですが、その分交流しやすかったように思います。ポスター発表に関してですが、自己PRが現在の研究内容についてのポスター発表になっているような気がします。もちろん、自分の仕事を発表する中で自分をPRする訳ですが、ポスターの内容に興味を終始してしまうこともあったように思います。自分の自己PRが下手といってしまうえば、それまでなのですが・・・。
- いろいろな企業の人とお話できたことはとてもよい経験になりました。今まで研究のことしか考えていなかったけど、それをどう社会に役立てるのかを考えることも大切であると思った。
- このような就職に関する活動に参加するのは初めてだった。思っていたよりずっといい形式だったと思うが、時間内で企業との交流が十分に行うことができなかつた気がした。
- 企業の話聞くだけでなく、研究者側から話をする機会が得られたことは有意義であった。今後も機会があれば参加したいと思う。
- いろいろな分野の企業の方、他のDC、PDに現状を聞いてよかったです。
- 今回の会合が就職に関する初めての活動だったのですが、人事や研究者の方々から色々とお話を聞くことができ有益でした。
- 現在、ポストク問題として有名ですが、非常に有能な人材が企業側からのつながりがないために職を得られない状態になっています。この赤い糸会のような、交流の場により、少しずつ変わっていくことを願っています。

～～企業回答集～～

【今後、研究者へ期待すること・要望】

- 現専門に留まることなく、常に広い視野を持って新しい領域にチャレンジして行って欲しい。
- ポスターセッションにおいては、現研究成果の報告に留まることなく、自分自身をアピールした方がよいでしょう。自らの研究に対する考え方や、研究者としての素質を他人に理解してもらう努力が必要と感じました。本会の目的を理解し、学会と一味違ったプレゼンの工夫が必要でしょう。
- 基礎的な研究であっても、社会的な波及効果をPRできたほうが良いと思います。
- 研究内容を丁寧に説明しようとする姿勢はよいが、何をしたいか、何を実現したいかを明示された方がよいと思います。
- 今研究されている内容については熱心に説明していただいたが、その研究の将来像が不明瞭に感じられた。（研究だから当然かもしれませんが。）
- 予想より開かれた方が多かったです。もう少し研究オタク系が多いかと心配していました。
- 視野を広くもって、企業ともコミュニケーションを高められたら良いと思います。
- 企業はやはり利益に厳しいところですが、暖かいところだと思います。
- 深い専門性を持ち、他の後追い研究ではなく、独創的な研究を進められることを期待します。また、自分の専門分野のみでなく、様々な分野への興味を持って、技術の幅を広げられることを期待します。それが研究成果の質を深め、様々な用途への発展に繋がると思います。
- 企業の案内等には積極的に接触し、常日頃触れることの少ない情報を入手した方がよい。（少し消極的過ぎるのではないかと思う。）
- 自分から能動的にアクションが出来るように行動して欲しい。
- ものづくりに対する興味、理解をもう少ししていただけたらと思います。
- 現在の専門分野以外に対して、どのように興味を持って課題対応できるか見せて欲しい。
- 研究内容の広範な応用のリアリティ、表現。
- アカデミックでの研究と、企業の研究では基本的な相違があります。1つのことを突き詰めることよりも、幅広く知識を吸収し、様々な事柄に対応する能力が企業の研究には求められていると考えています。頑張ってください。
- 変革、チャレンジ、自己アピール力
- 割とおとなしい方が多かったように思う。もう少しアピールした方がよいのでは。
- 積極的な発言、行動が出来る方、創造性に優れた方を求めています。

【今後、S-cubicに期待すること・要望】

- 今回の face to face の人的交流は、弊社にとっても大変有意義でありました。
- 企業側への本会の趣旨についての事前説明が、不十分な方がいたようです。
- データベースが未だ機能していないようです。PD、DCの方も登録の意義を実感していないようでした。
- 今後も、大学と企業の連携を図り、また、大学のより一層の発展のためにご活躍することを祈念します。
- 事前の案内、特にどの分野のDC、PDが参加するのか、どのような研究発表があるのかについて知らせて欲しい。
- 課題解決型の人材を希望しております。PD、DCならば1つは課題解決できたものと考えられますが、リーダーとして一人でこの先も課題を解決できるのか、その資質が見えるようなことが出来れば異分野でも採用可となると考えます。
- 継続的にこのような機会を作っていただくことで、企業側の人間が理解を深めることに繋がると考えます。博士本人、企業側、双方が理解しあうことで、今後の展開に繋がると考えます。
- 研究員の方々と企業との橋かけ役として今後も積極的な活動をお願いします。
- 継続することかと思えます。（今すぐには成果はないかもしれませんが。）
- 企業の採用情報（どういった人材を求めているか）を若手研究員に提供すると共に、社会で精神的にもやっつけられるというハッパをかけるようなセミナーを催していただけることを希望します。
- 前回よりも盛会だったとお聞きしました。企業側も雇用にかなり積極的と伺えました。S-cubicの成果です。楽しみです。

【感想（自由に感想を書いてください）】

- このような機会をいただいたことに感謝します。
- 学生の皆さんと直接会話でき、楽しい時間を過ごさせていただきました。
- 皆様のご予定をちょっと配慮していれば、もう少し懇親を長く出来たのではと多少残念です。
- また、少し、企業の方にはご協力願ひ、会社見学なども併用させてはいかがでしょうか。弊社も協力可です。
- 研究者（学生）が少しおとなしい感じがする。もう少し元気があってもいいように思う。
- 企業紹介は途中で休憩を。

- DC・PDの、前向きな姿勢に驚きました。アカデミアにこだわらないフレキシブルな方が参加されているのですが、このような活動を繰り返していけば、双方の見方が変わりバリアも取れると思います。
- 面白かったです。良質のご研究を聞いてありがたいと思いました。
- 事前に参加学生、PDの専門が分かればより則した内容のものが準備できたように思います。取り組みは非常に有意義なものと感じましたので、今後、より積極的かつ大規模に行われることを期待します。（マスターの方の参加も是非）
- これまで関係ないと考えられていた分野も、技術の進展に伴い、関連性があることに最近気づいています。ただし、具体的な組織体制作りが追いついていない点、また、技術者育成の観点で長期的な業務の創出という点で根拠が弱い点があり、ジレンマを感じています。
- 生物系の学生さんが多く、事業内容とのマッチングが今ひとつという印象でした。学生さんの興味も考慮した企業選定もあってよいかと感じました。
- 参加する学生、研究者の専門があらかじめ知りたかった。（それに合わせたプレゼンが出来るので。）もう少し参加者の専門の幅が欲しかった。（バイオ系が多い）
- 学生のパネルプレゼンテーションは時間としてしっかり設けていてよかった。但し、企業ブースとの交流時間（フリータイム）がやや短かったのではと思います。
- 異なる業種の方の話をお聞きすることが出来てよかったと思う。研究者の方にとっても各社の考え方が分かるよい機会となったのではないかと。